



愛知県板金工業組合
発行 広報委員会
名古屋市昭和区北山町
3-8-6 〒466-0006
電話 052-732-1226

第2回理事会報告

第2回理事会が10月15日(金)午後3時より県板事務所にて開催され41名が出席した。

議事に入る前に齊藤理事長の挨拶があり、その中で全板会館建設負担金の納入についてはほぼ完納されており、組合員の協力に感謝を述べた。

(1) 組合章マークについて

新しい組合章のデザインを募集したところ32件の応募があった。その中から3点が常務理事会で選ばれている。最終審査がこの理事会に諮られ、優秀賞1点が選ばれた。この作品の一部を修正して組合章とする事に決定した。

優秀賞1点には2万円の商品券、応募者全員に千円の図書券が贈呈される。

(2) 全板会館建設負担金の納入状況について

現在までに1支部を除き、完納されている。未納の1支部は1名の納入が遅れているので、まもなく納入される見込みである。

愛知県板金の負担額は14年4月1日の組合員数776名が積算の基礎となっている。今回各支部よりの納入は737名分で39名分が不足する。この不足分は県板共済に係わる特別収入より支払う。

(3) 万博前売り入場券の申込み状況について
まだ申込みが届いていない支部もあるが、現在1864枚の申込みがあり、中央会から依頼のあった2千枚はクリアできる。

入場券は11月末に支部へ配布できる予定であり、その代金は12月初旬に県板まで収めてほしい。

追加申込みも受付けているが、支部でまとめて申込んでほしい。
* 松代技術研究委員長

(4) 組合員名簿作成について

広告掲載について前回は上回る45社の協賛を得ることができた。

第1校正が10月末にできるので、これを郵送にて支部へ送付する。各支部にてその内容を十分チェックして、11月初旬に県板まで返送してもらう。11月末には新名簿を支部へ送付できる予定である。

(5) 委員長報告

* 毛利総務委員長

・全板長崎大会の旅行行程と見積をJTBに依頼した。
・長崎大会にはバス2台で90名の参加を予定している。参加費は7万円を予定している。詳細は10月23日の委員会検討する。

・来年の総代会は5月20日(木)に開催する。
* 高橋広報委員長

・「愛板」10月号に05全板愛知大会ロゴマークとテーマについての説明を掲載している。本日も配布されるロゴマークのステッカーと一緒に組合員に配ってもらいたい。

・全板大会の「思い出」等の寄稿をしてほしい。写真もあったら送ってもらいたい。
* 松代技術研究委員長

・9月27・28日の保証講習会に講師として4名の委員が出席した。

・11月16日に新城の馬場さん宅にて委員会の研修を予定している。

* 加納技能委員長

・10月6日に技能検定試験の合格発表があり、1級19名、2級15名、曲げ板金2名が合格した。この試験実施にあたり協力いただいた役員各位に感謝いたします。

・合格証伝達式を12月21日に国際ホテルにて開催する。

* 加藤厨房空調委員長

・「職長・安全衛生責任者教育」の講習を10月25・26日、岡崎工学院で実施する。受講申込み者は19名。

・来年2月に開かれる東京の空調機材展を見学する予定であったが、この見学会ツアーは中止の方向にある。

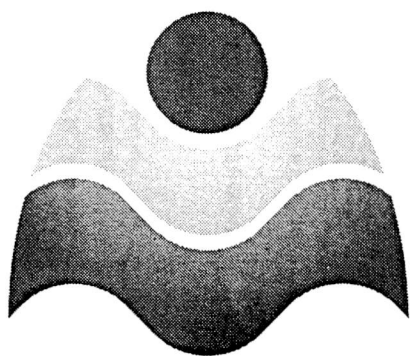
* 初山経営研究委員長

・全板連の指定商品になった日新工業のルーフィングを亜鉛鉄板問屋会の問屋さんに取扱ってもらえる様に依頼している。組合員にこれをPRしていく。

・リフォーム相談員の講習会が時々開催されるので、その情報を組合員に流す。

* 西俣保証委員長

・9月27・28日に保証講習会
2頁へつづく



2005 愛知
全国建築板金業者大会

05 全板愛知大会
ロゴマーク
上段「赤」は太陽、中段「緑」は風、下段「青」は水を表す。

= 愛知県板金工業組合 = インターネット導入

ご意見・ご要望等はこちらへ

当組合は今年の10月にインターネット導入しました。電子メールアドレスを掲載しますので忌憚のないご意見・ご要望をお待ちいたしております。

愛知県板金工業組合
メールアドレス

aichikenban@orion.ocn.ne.jp



1 頁よりつづき
を技研委員会の協力の下に実施し、23名の申込みがあったが19名が受講した。

・保証申請者数を150名以上としたいので役員、委員さんに協力願いたい。

・保証制度PR用のステッカーの作成を検討中である。

・沼澤厚生委員長

・県板共済の加入率が43%に上昇した。しかし、まだ未加入の委員さんもあるので各委員会にて加入を促してほしい。

・全板会館負担金の一部が県板共済関連の資金より支出されている。この事から組合員の平等性を考えた場合、全員加入が当然である。又、万一の時の保障であり、余剰金が出た場合には還付金もある。決して無益な捨金ではない。役員、委員さんにはこの事をアピールしてもらい、全員加入に向けて協力いただきたい。

・全国板金業国民年金基金については、同基金より毎月未加入者のリストが送られてくるので、これを元に直接厚生委員が本人に加入依頼をしていく。

・長谷川技能士会長

・技能プラザが11月8・9日吹上ホールで開催される。

今回は技能委員会が中心となって出展するが、徐々に技能士会が引受けていく。

・新規加入の会員を募集していく。

・村上全板愛知大会実行委員長

・9月16日篠原全板興業社長を招き意見交換会をした。

・当面は長崎大会での愛知大会PRの準備を進める。

・宇野青年部長

・全国技能競技大会の県予選を1月11日(日)に実施する。

・青年部のない支部にも青年部活動に参加したい若者がいる。親組合が積極的に働きかけて青年部を立上げてもらいたい。

(5)その他

・16年新年懇親会について

・愛知県板メールアドレス

・尾張名古屋職人展の実施結果

・県板共済加入促進について

・全板愛知大会ロゴマークのステッカーを支部に配布。

・追加申込み分は有料。

・県板共済の還付金を配布。今回は給付額が多額であったので還付金が少額となった。

・東三支部より案内

10月26日(日)支部で運動会を行うので参加してほしい。

委員会報告

総務委員会

開催日時 10月23日午後3時
出席者 18名
(1)第56回全板長崎大会について

・長崎大会の旅行3案と見積金額の説明がJTBの古川課長よりあった。その内容を審議し、第1案を一部変更して2泊3日の旅行費を決定した。又、参加費を7万5千円(大会参加費含む)とし、バス2台で90名を募集する事になった。

(2)組合員名簿作成について

・第1回校正を10月末に支部長に送付する。支部でそれを確認してもらい、11月6日までに県板へ返送してもらう。11月中旬に印刷会社へ回し、11月末には刷り上げる。年内には組合員の手元に渡る予定である。

・表紙には新組合章のマークを入れる。

・名簿は全て50音順に並べる。

・名簿を全国の都道府県板にも送る。広告協賛会社には2部送る。

(3)平成16年新年懇親会について

・設営担当の尾張ブロック長平野克彦委員より準備状況の報告がなされた。
日 時 1月18日(日)

開演12時

・会場 松岡豊泉閣
・交通機関 近鉄蟹江駅下車
シャトルバス有
東名阪「蟹江I・C」より車で約3分

・会 費 1万2千円
・来賓として出席願う依頼先は次回12月2日の委員会決める。

・全板長崎大会にて05全板愛知大会のPRをする「横断幕」をリハールサルを兼ねて運営部会の委員がハッピを着て実演をする。

(4)その他報告

・全板会館建設負担金の納付は完納された。
・愛知万博の前売り入場券購入申込は2千枚を達成できる見込みである。
・名古屋ブロック
中部国際空港の見学会を実施した。

・尾張名古屋の職人展に出展し盛況に終わった。花器(竹筒に銅板入り) 2百個完売

・尾張ブロック

・ボーリング大会を実施した。
・西三ブロック

・11月6日に総会を開く。講演で万博協会から講師を招く。設営担当は西尾支部。

・知多ブロック

・7月に献血を実施した。
・東三ブロック

10月26日に向山公園にて運動会を開催する。
企画部会

12月にコンベンションビューローと05全板愛知大会について打合せをする。

広報委員会

開催日時 10月28日午後2時
30分

新年懇親会のご案内

平成十六年の新年懇親会は、尾張板金連合会の担当で開催されます。

多数のご参加をしてくださるようお願い致します。

開催日時 平成十六年一月十八日(日)

受付開始 午前十一時

開 宴 正午

会 場 「松岡豊泉閣」

愛知県海部郡蟹江町大字西之森

字長瀬下六五一九

〇五六七一九五五一

会 費 二一〇〇〇

申込先

支部長まで会費を添えて申し込み下さい。

申込締切

平成十六年一月七日(木)

交通のご案内

お車でお越しの方

・東名阪自動車道「蟹江I・C」より車で三分

出席者 6名
・今号(388号)の編集を行う。

・新年号掲載の挨拶文の依頼先を決定。

・紙面のサイズをA4版にして文字を大きくしたいという提案があり、400号を機に紙面を刷新する方向で検討する事になった。

交通機関でお越しの方

・近鉄名古屋本線「近鉄名古屋駅」から「近鉄蟹江駅」下車

急行・準急で二〇分

交通機関でお越しの方は無料送迎バスにご乗車ください。

運行時間

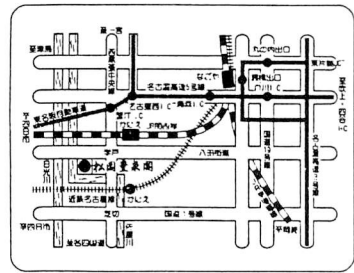
十時二〇分から

十一時一〇分の間

注 JR関西線「蟹江駅」

からは送迎バスはありません。

必ず近鉄に乗り近鉄「蟹江駅」で下車してください。



愛知県板の至宝 現代の名工

馬場喜郎氏

今春、愛知県板に東三支部の(南)建造・馬場喜郎さんから丹精込めて製作された「丸形銅壺」始め「湯沸し」「彫金家紋」「茶器建水」など、見事な鍛金・彫金作品七点が寄贈された。その御礼も兼ねて新城のお宅に表敬訪問し「鍛金・彫金」に懸ける夢と熱い思いを聞かせて頂いた。

馬場さんは昭和六年生れの七十二歳。昨年春病魔に冒され手術、療養の甲斐あって体調も奇跡的に回復され元気な姿でお会いすることが出来た。もともと恰幅のいい方であっ

たが病気のせいか幾分やつれが見られるものの以前にも増して快活に話をされた。

年代頃から彫金(打出し加工)から始め、その後本格的に鍛金技術の研鑽に励む。昭和六十一年日本金工展に「波紋壺」を出展し初入選してから連続十六回入選を繰り返している。また平成二年には各種工芸界最高の栄誉である「日本伝統工芸展」で「鍛黒味銅鉢」が入選。以後三回栄冠に輝いている。事務所の隣には見事な作品の数々が陳列ケースに並べられていたが、これもごく一部だけであとは蔵入りしてあるとの事だった。

簡単なスケッチで構想を決める。あとは銅板をなまししては叩き、叩いてはなますの繰り返しでどんな形にでもなる。彫金技法は「入り口は狭いが中は無限に広い」「健康のうちに私の持てるすべての技を、基本から材料の選定、工具の使い方・作り方、隠し仕事など、板金業界の若い人達に是非とも伝えたい」と熱意を込めて語られる。

馬場さん自身、体力は衰えたが金槌を振る腕の力は誰にも負けない自信があると言いつける。そして作りたいたいのが無限にあるという創作意欲はみじも衰えてはいない。

彫金技法を極めた馬場さんの創造力・感性・チャレンジ精神を基に黄金の左腕から叩き出される作品に大きな期待を寄せるものである。

鍛金技の「入り口は狭いが中は無限に広い」の言葉が印象深い訪問であった。

(S) 齋藤

作品説明

加工。取手には様々な種類がある。

⑥湯沸し(写真左後)

銅板0.5% (蓋 0.8% (胴) にて製作。

※尚、内部は錫メッキ(白味引)が施してある。鉛化亜鉛液を薄く引き作業するが、温度調節が重要で、板厚が薄いほど難しい。又、金属加工には同じ様に見えても、絞り加工と打出し加工があり、絞りは厚くなり、打出しは薄くなる。

①建水(写真左手前)
茶道具の一つで、銅板1.2%を手絞りし、表面は、丸頭鉋で乱れ打ち仕上、後、硫化着色。

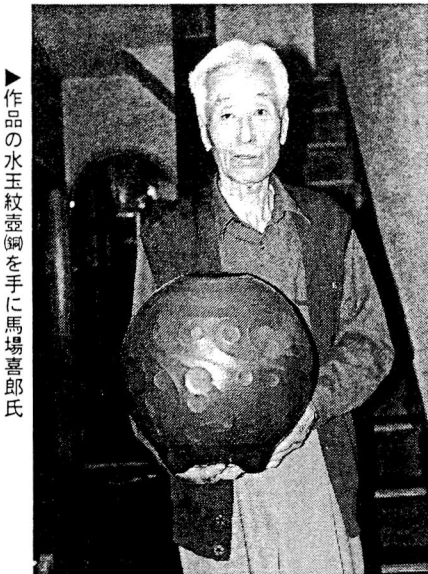
②彫金家紋(写真右後)
真鍮板1.2%に家紋の図柄を書き、なめくり鑿の大小を使用し製作、後、煮込着色。真鍮には、銅と亜鉛の比率により3種類あるが、この家紋は一種(銅70亜鉛30)を使用。尚、図柄は横木瓜である。

③大球、小球(写真正面手前) 銅板0.4%を手絞り加工。

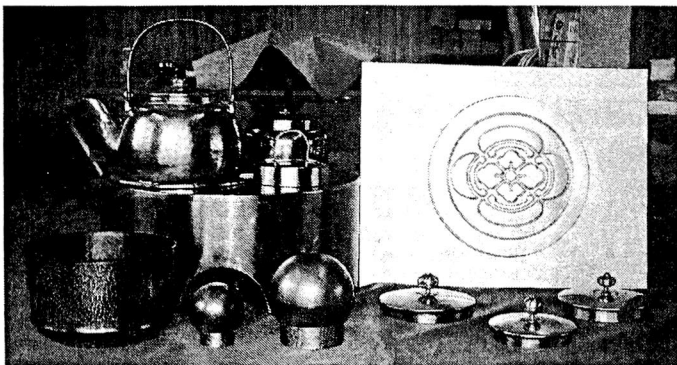
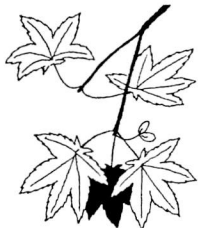
洋風屋根の鬼瓦(中真鍮)に使用する。2枚の銅板を重ねて作る。

④銅壺(写真左後) 銅板0.5%を手絞り加工。銅壺には、丸型と角型があるが、丸型は湯出し口が茶釜型になっている。

⑤銅壺の蓋(写真右手前) 銅板0.5%を手絞り



▶作品の水玉紋銅壺を手に馬場喜郎氏



県板技能士会 再スタート

愛知県板金工業組合の愛知
県板技能士会は今年度から、

各ブロックより8名の役員を選出し、上部団体である社団法人愛知県板金工業組合の事業に継続参加し、県板技能士の発展のために活動を開始した。

今年度は11月8・9日に開催される技能士会連合会主催のあいち技能プラザに初めて参加することになった。しかし、県板技能士会だけではまだ運営がむずかしいので、長年担当してきた技能委員会と共同で参加することを両役員会で申し合わせた。

今後は、技能士関係の事業は技能士会が、検定関連の事業は技能委員会が担当することになる。

県板技能士会の役員

会長 長谷川信俊(中)

役員 山口 良二(一宮)

江口 龍雄(犬山)

松野 茂(熱田南)

高木 信彦(中川港)

酒井 克幸(安城)

中根 圭介(豊田)

平松 賢治(東三)

竹内 敬二(知多)

会員数 222名

県板技能士会の経緯

板金技能士会は工業組合が結成される以前より発足しており、主に技能検定関係の事業を、組合事業と別に行ってきた。

昭和56年秋に、組合側から6名の常務理事と、技能士会会長、副会長2名、技能士会常務理事1名による特別委員会が行われ、組合と技能士会の事業の一本化が成立した。

これまでの技能士会会長が検定委員長を兼務し、検定委員が業務を担当し、その後、検定委員会は技能委員会に名称が変わった。

技能士会長は一本化から4人目と引き継がれてきた。しかし、会員数は新規募集をしてこなかったために減少のままだ。現在に至っている。

会の役員として会長が一名いるだけでは、会員との接点が無く、会の目的のために活動できなかった。技能士会の役員を設けて、役員会で活動方針を決定することになった。会費については、年間一人千円で、県の連合会の賦課金と県板の検定事業費に当てている。

佐藤

職長・安全衛生責任者 教育の講習会

愛知県板金主催の「職長・安全衛生責任者教育」講習会を

10月25日(土)、26日(日)の両日、岡崎技術工学院にて実施した。講師には、法定特別教育センターより坂長助氏に来ていただき、18名が受講した。

平成12年に法が改正され、これ以前に職長を取得した人は、新しく「CFT教育」に基づく安全衛生責任者の資格が必要になりました。今回の講習会は、「職長教育」と「CFT教育」を合わせたものでした。

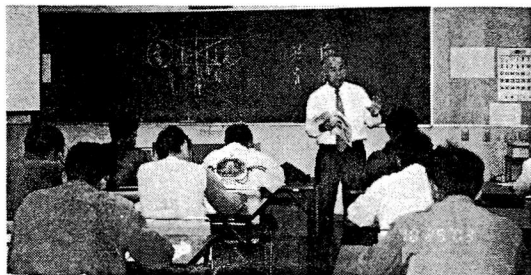
25日、午前9時30分より、斎藤理事長の挨拶で始まり、参加した経営者は、従業員にケガをさせてはいけない。命綱を使用させないで、死亡事故などを発生させたら。又、20才から30才の若い参加者は、自分は元より同僚も安全作業に取り組んで、笑顔で帰宅出来るように気を付けなければと、皆んな真剣に受講した。

又、坂先生も今回の受講者が職場に帰り、安全作業に取り組むようビデオや独自のテキストを用意して下さいました。とても熱が入り、有意義な

二日間でした。

最後に、「危険を忘れない」、「自分の身は自分で守る」、「このことをいつも忘れず、安全作業に取り組んで下さい。」

空調・厨房委員長
加藤哲夫



▶講習会風景

心・技・形の祭典

平成十五年「尾張名古屋の職人展」が第二十回を迎え、

米の「オアシス21」で10月3(金)・4(土)・5(日)に開催された。これまでは吹上の第二ファッション展示場で開催されていましたが今年は米のど真ん中、日頃でも大勢の人が行き交う憩いの広場での開催とあって例年よりかなり好評でした。愛知県板金工業組合のブースは南端のエレベーター前で、多くの人の行き交う場所でした。今年は3・4日が午後八時まで、5日が六時まで

でと、時間が長くなり、各支部担当者は大変でした。今年も早くから竹筒花器の制作準備と、展示品として熱田・南支部の小池氏より寅・七福神・天狗の銅板打出し作品と東三支部の馬場氏から県板に寄贈して頂いた銅板製燗付け釜などが展示されていた。竹筒花器は一九一個が準備され一七六個が売れました。

(熱田・南) 伊藤



▶好評の県板ブース



県板事務局年末年始のお休み

日ごろは、組合事業にご協力を賜り有難うございます。県板事務局は、12月27日(土)から1月4日(日)までお休みさせていただきます。

知多支部青年部

パソコン教室

青年部活動の一つとして、昨年より行っているパソコンの勉強会を実施した。講師を招き、案内状の作成に取り組んだ。

昨年に引き続きなので表計算で請求書、見積書の作成との意見もあったのだが、やはり何事も基本からという事で練習問題をこなしてみた。

自分の機種とは使い勝手が違い戸惑い、自己流でやっていたが、悪い習慣が付いていた。やはり指導者に教えて頂くのが、最善策と思った。

キーボードを正確に、早く打つ事を心掛け、知らない機能も覚えて、忘年会の案内状を作成した。

真剣に取り組み、時間を忘れての二時間だった。

第三・第四回を行う予定ですので、まだ参加されていない方、関心のある方は、是非参加して下さい。知多支部青年部は、パソコン40台の最新設備の環境で、取り組んでいます。

パソコンを通して、多くの仲間を作り、仕事に利用して行きたい。

詳細は、部長竹内まで
0569(28)3987

知多支部青年部 竹内

西三板金連合会青年部

折鶴講習会

8月17日(木)から9月28日(木)までのうち、12日間にわたって、岡崎地域職業訓練センター実習場で、板厚〇・一五ミリ、大きさ二・三・五寸角の銅板を使って鶴の製作を21名が習った。

毎年、講習会を開くにあたって課題に苦労するが、今年は、課題を考える時期に全板新聞に京都府板が銅板の鶴を製作した記事が掲載されていたので、役員・幹事会ですぐに決まった。

講師には、岡崎支部組合員の山内和夫氏にお願いした。山内氏は、京都に直接行って指導を受けられたそうです。

最初に、製作過程のビデオを見た。その後、折り方の説明を聞いて実習に入っ

た。

まず、四寸角の大きさの紙で鶴を折って型紙にし、その型紙を元に三種類の型紙を作った。その型紙を使って銅板にケガキ線を入れた。このケガキ線が折り曲げ線になる。この時、尖ったケガキ針では切れやすいので、少し丸みのあるケガキ針を使用した方が良く注意があった。

折り曲げにかかると、角を出す所、羽根の調整、座りの調整など、いろいろ注意する所がでてきた。

一羽目ができると、二羽目、三羽目と各自製作していき、数を作るにつれて見栄えの良い物がでけるようになった。

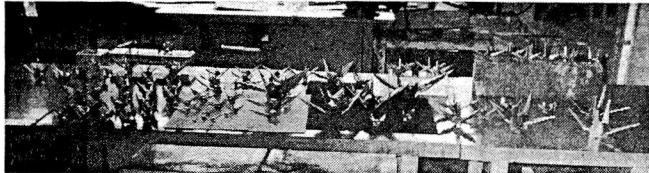
そして今度は、大きさを

変えたり、材質を変えたりするようになった。

た。大きさは、



▶お気に入りの出来るかな



▶鶴の勢ぞろい

三寸・五寸だけではなく、二寸・六寸などで作る人がでてきた。材質は、真鍮とアルミにも挑戦した。

最終日に、参加者から今回の意見を聞いた。「目先が違った課題で良かった」「今度は、

セキスイ瓦工場と

武蔵の里を訪ねて

秋晴れに恵まれた9月28日(日)・29日(月)、昨年に続き、昭和支部と熱田・南支部は合同の親睦、見学旅行会を行った。今回の参加者は22名でした。

朝8時、荒畑より熱田神宮前を回って、名神高速より中国自動車道を岡山に向かった。

一時間おきに小休止を取りながら佐用インターで中国自動車道を下りて「道の駅・宿場町しらふく」で昼食を取って、そこから30分程走って、大河ドラマで一躍有名となった「武蔵の里」を訪れた。

現在、宮本村は岡山県英田郡大原町となつて、町中を流れる宮本川だけがその名残を残している。最近出来たばかりの「テーマ館武蔵」を見学し、小説の中で造られた人物の印象が強かった武蔵(たけぞう)の生涯の活躍ぶりや使用していた道具や刀、書などを見て実在の人物を実感した。テーマ館前の屋外ステージでは役場職員による「破流

鶴以外の動物に挑戦したい」「真鍮、アルミは、銅板にくらべて硬いため、製作しにくかった」などがでた。

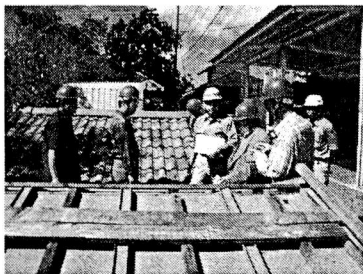
最後に記念写真をとって、講習会が終了した。

岡崎 宇野

島の決闘」場面の寸劇がお客

さんを交えて上演されていた。一時間ほど見学して今回の宿、湯郷温泉へ向かった。少し早めに「湯郷プラザホテル・季節の里」に到着、部屋でゆっくり休んで、午後6時より宴会が始められた。

「料理自慢の宿」を看板にしているそうで料理はなかなかの物でした。翌朝8時、宿を出て山陽道を岡山市へ向かい、今回のメイン見学地、積水化学の「岡山積水工業」を



▶セキスイ見学風景



▶参加者

見学した。同工場はツーユーホームのバスユニットをはじめFRP継手や、我々が見学させてもらう「かわらU」及び有機繊維強化セメント系平瓦を主に生産している工場です。まず、ホールにおいて工場の概要と製品説明の後、工場内を見学し、原料から製品梱包までの工程を見る事が出来た。最後に屋根瓦の施工過程の展示場で説明があり、我々の要望などを聞いてもらった。帰りに、お土産まで頂いて工場を後にした。それから姫路に向かい国宝「姫路城」を見学した。別名「白鷺城」と呼ばれるだけあって何度見てもその優雅さに見取れました。本丸内を足速に見学してバスに戻り帰路についた。帰りの車中は恒例のビンゴゲームに興じて賑やかな内には予定時刻に名古屋に着いた。

(熱田・南) 伊藤

東三支部

家族親睦運動会

10月26日(日)、豊橋市内の向山公園芝生広場にて、家族親睦運動会を開催した。

当初、参加人数不足を心配していたが、集合時間の10時には、大人・子供合わせ100人以上が集まり、賑やかな運動会となった。

競技内容は、3才児以下のヨチヨチ徒競走や、アベックデカバン競争始め、恒例の玉入れ、パン食い競争もあり、又、豪華景品(?)引替の宝探しなど、大いに盛り上がった。

運動会終了後は、バーベキューやビンゴゲームで楽し

み、午後2時頃には参加者全員で公園の清掃をし、解散となった。

東三 松浦



夫婦で仲よくデカバン競争

津島支部

第5回ゴルフコンペ

10月22日(木)、天気曇、滋賀の双鈴ゴルフクラブ土山コースにて、12名が参加し開催された。今回も(株)カネブンさんに参加いただいた。

優勝は、前回に続き河野幸徳さん。参考までにスコアはOUT 39、IN 38の77でした。皆、次回こそはリベンジを誓っていた。 津島 猪飼



参加者



時過ぎて

旅をしてきた。永いこと、もう五十有余年になる。人も、街も、物でさえ時間の旅をして来た、タイムトラベルだ。いつからだろう、旅の始まりは、五、六才の頃からだろう。当時の風景を思い出してみる。不思議な事に色が付いていない、セピア色だ。だがその思い出は、頭の内動き出す。家の前の、鉄橋が掛かる小さな川の兩岸に組まれた石垣、水抜きの穴に住むへび、そのへびを漁りに来るおじさん。そのおじさんの顔もおぼろげに思い出す。針金の先にワッカを作り、穴に差し込み器用にひっぱり出す。葉になるそう。自分も真似てみたが上手くいかなかった。その鉄橋を渡り線路をしばらく行くと矢作川に出る。矢作川に掛かる大きな鉄橋、それを支える橋脚の基は、水の流れる(当時の川は水量も多く、流れも速かった)。小学校も高学年になると、その深くえぐれた所で泳ぐ。そしてウナギも突く。たまにはとれる。夕食のオカズになる。夜ともなれば、カーバイトを持ち「火ぶり」に行く。アユ、白ハエ、スナモ、ウナギ等の寝

ているところをヤスで突く。水もすぐきれいだ。春ともなれば、少し足を延ばし幸田町、蒲郡までイチゴを、夏から秋にはナシ、ミカン、初冬には生で大根をカジったものだ。あれから四十余年りが過ぎた。人も、街も、畑も、川も、鉄橋も姿を変えた。今は面影もない。皆旅をしているのだ。この先も、ずっと、ずっと旅をしていくのだろう。 齊藤孝行

9月各支部の動き

昭和支部	8日 例会	13名
瑞穂支部	・万博前売券及び保証制度の申請のお願い他	
熱田・南支部	1日 支部会	15名
春日井支部	23日 定例会	
津島支部	8日 月例会	13名
・忘年会について	28日 役員会	4名
江南支部	5日 定例会	5名
西三板金連合会	22日 ゴルフコンペ	12名
2日 役員会	(土山CC)	

・県板各委員会報告	18日 監査会・総会準備会	14名
・総会について他	・総会事前打合せ	
岡崎支部	13日 青年部役員会	7名
・短期課程講習会及び支部50周年記念誌について他		
碧南支部	19日 青年部バーベキュー大会	30名
刈谷支部	23日 三役会	4名
・忘年会、新年会他		
豊田支部	11日 第7回役員・班長会	
・西三板金連合会総会について他		
西尾支部	9日 役員会	16名
・西三板金連合会役員会の報告他		
知立支部	15日 定例会	5名
東三支部	6日 定例会	22名
15日 青年部定例会		11名
16日 前期会計監査		7名
26日 家族親睦運動会		110名
27日 三役会		6名
県板青年部	5日 第3回幹事会	12名
・あすなろ研究会の報告		
・全国建築板金競技大会について他		

編集後記

私が住んでいる碧南市には「くるくるバス」という愛称のマイクロスバスが走っている。名鉄の駅、市民病院やほとんどの公共施設に乗り入れて市内を循環している。便数が5・6便と少ないが、無料なので結構人気があり、老人、特におばあさん達が多く利用している。

私は名古屋で呑む機会が月に2・3度あり、そんな時には大抵このバスを利用して駅まで出る。私の様な中年のおじさんはめったに乗っていない。おばあさん達に囲まれて少々肩身が狭い。しかし私はこのバスが好きだ。無料だからではない。乗る時には「お願いします」降りる時には「ありがとうございます」と、ほとんどの人が口にする。そうすると運転手も「どうぞ」「ハイどうも」と言ってくれる。何か心がやすらぎ、いい気分になってくれる。今から行く名古屋でウマイ酒が呑める様な気にもなる。帰りがコワイ。

十月二十八日 曇
三三八号 編集会議
広報委員 六名出席
午後五時五分 閉会